

しき 社協だより

目次

- ・災害ボランティアセンター ……2・3
- ・決算報告、事業報告 ……4・5
- ・夏休み中の子どもの居場所紹介 ……6・7
- ・夏のボランティア体験プログラム
「福祉学園」参加者募集 ……7
- ・活動紹介 ……8



今月号
の表紙

「災害ボランティアセンター」には、被災者からの困りごとを聴き取り、ボランティアを派遣する役割などがあります。詳しくは2・3ページをご覧ください。



社会福祉法人 志木市社会福祉協議会

〒353-0001 志木市上宗岡 1-5-1 (総合福祉センター1階)

☎ 048-485-1177 FAX 048-475-0014

Instagram



Twitter



Facebook



ホームページ





『災害ボランティアセンター』ってな〜んだ？



災害ボランティアセンターとは？



災害ボランティアセンターは、大規模な災害によって多くの市民が被災した時に、ボランティアが円滑に活動できるように設置されるものです。本会は、志木市における大規模な災害時に市からの要請により、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置し、被災者の支援を行います。



どうして社協が設置するの？



社協は日頃から、地域の福祉を推進するため「地域の困りごと」に対して、地域の関係団体と連携をしながら対応している組織です。災害時も同様に、多様な課題に対して地域のネットワークを総動員して支援活動を行う役割があります。

被災したら… どんな困りごとが起こりうる？

地震が起こったら…



「食器棚が倒れて、食器の破片が部屋中に…」



「家が倒壊してしまって、避難所で生活することになった」

水害が起こったら…



「泥水が家の中に入ってきってしまった」

台風がやってきたら…



「どこからか屋根が飛んできた！撤去してほしい」



災害ボランティアとして活動するとき

● 災害ボランティアとは、災害が発生した時に被災地での復旧や被災者の生活の支援を行うボランティアを指します。

よくメディアなどで目にする家財の片付けや炊き出しなどの直接的な支援だけでなく、被災者に寄り添う交流の機会なども活動の一つです。被災者のニーズに沿った活動が中心になります。



炊き出し



話し相手

支援物資
食糧の仕訳



どんなことをするの？

他市で災害ボランティアとして活動する場合には、本会でボランティア活動保険に加入してから参加をお願いします。

がれき
瓦礫の片付け



泥出し



こんなものを持っていくと便利！



災害ボランティアの皆さんは、活動前に災害ボランティアセンターでの登録・受付が必要です！



その1 受付班

被災地に来てくれたボランティアと最初に接する受け入れ窓口となり、受付登録及びボランティア活動保険加入手続を行います。



その2 ニーズ班

被災者が必要とするボランティア活動の内容を正確に聴き取ります。



災害ボランティアセンター内では
どんなことが行われているの？

被災者中心

地元主体

協働



その3

マッチング・送り出し班

被災者からの様々な支援ニーズとボランティアの活動希望を結びつける役割を担っています。



災害ボランティアセンターの 運営支援を経験して

令和元年東日本台風による水害発生時、災害ボラセンが設置された市に、県内社協から応援職員の派遣が行われました。

東松山市の被災地では、土砂やガレキが山積みとなり、途方に暮れる被災者の姿が容易に想像できる状況でした。そのような中多くのボランティアが現地に送り出され、被災者宅の清掃作業等にあたりました。他者を思いやる気持ちや人同士のつながりの大切さを強く感じた場面でした。



災害ボランティアセンター担当者より

志木市で災害が発生した際に、被災した地域の皆さんを支援できるよう訓練をしています。

訓練後職員からは、「ボランティアが受付しやすいような工夫が必要」「被災者のニーズを正確に把握するための訓練を行ったほうがいいのか」など課題や次回への改善点などの意見がでました。

災害ボランティアセンターの力が発揮できるよう今後も訓練を重ねていきたいと思ひます。



実際の訓練の様子

本会では、令和4年度に職員を対象とした「招集訓練」と「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」を行いました。

令和4年9月4日(日)招集訓練の様子

前日に市内で水害が発生したことを想定し、公共交通機関及び自家用車を使用せずに参集しました。



▲各事業所とオンラインで参集状況を報告

令和5年2月12日(日)立ち上げ訓練の様子

埼玉県社会福祉協議会の職員を講師として迎え、災害ボランティアセンターの役割について実例をもとに学び、実際に班に分かれて実演しました。



第44回九都県市合同防災訓練(埼玉県会場) 令和5年度埼玉県・志木市民総合防災訓練

東京湾北部を震源とするM7.3の地震が発生し、志木市内でも最大震度6弱の揺れを観測したことを想定した大規模な訓練が行われます。

- 実施日時 令和5年8月27日(日) 9時から13時30分 ※実働訓練は11時30分まで
- 訓練会場 志木市役所、いろは親水公園等
- 実施内容 住民による初期消火訓練、はしご車による救助訓練、水難救助訓練、ヘリによる救助訓練、市民参加型防災イベント等
- 主催及び参加機関
 - (1)主 催:埼玉県、志木市
 - (2)後 援:内閣府
 - (3)参加機関:消防、警察、自衛隊、九都県市、防災関係機関、災害時応援協定機関、医療機関、自主防災組織・町内会ほか

●交通規制

訓練の開催に伴い、会場となる志木市役所周辺では交通規制を行います。周辺道路の混雑が予想されますので、迂回の御協力をお願いします。

●問合せ先

埼玉県危機管理防災部災害対策課防災基地・防災訓練担当 ☎048-830-8186

志木市総務部防災危機管理課防災危機管理グループ ☎048-473-1123

こちらから詳細をご覧ください▶



近年、少子高齢化や人口減少といった社会環境は大きく変化し、社会的孤立、生活困窮、児童・高齢者の虐待、子どもの貧困等、福祉課題や生活課題は多様化・複雑化しています。さらに、長期にわたる新型コロナウイルス感染拡大の影響や物価高騰など市民を取り巻く生活環境が一層厳しさを増す中で社会福祉協議会には、時代の変化に合わせた地域づくりの中核的役割を担うことが期待されています。

このような中、令和4年度の事業運営にあたっては、コロナ禍の厳しい状況や社会の変化に適切に対応し、第5次志木市地域福祉活動計画の「みんながつながり、安心して自分らしく暮らせるまちの実現」の理念のもと多様な福祉活動を展開してまいりました。

令和4年4月から新たに「志木市基幹福祉相談センター」の業務を受託し、長年培ってきた生活困窮者や障がい者への相談支援や権利擁護事業のノウハウを生かし、地域福祉の推進を担う中核的な機関として業務に取り組むとともに生活困窮者への相談支援やフードバンク事業等、既存事業とも密接に連携しながら効果的な事業運営に努めてまいりました。

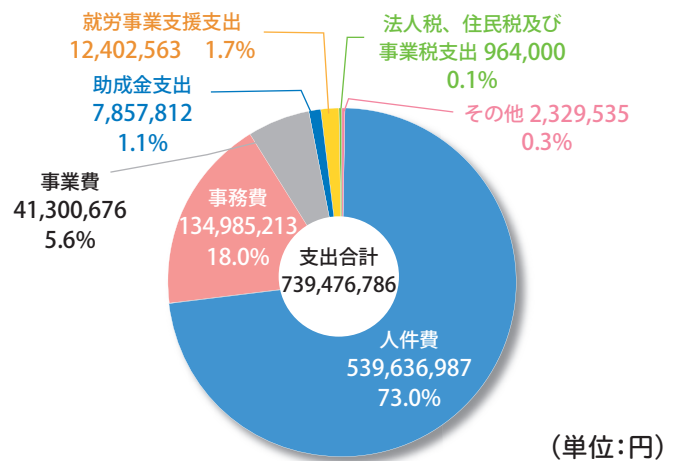
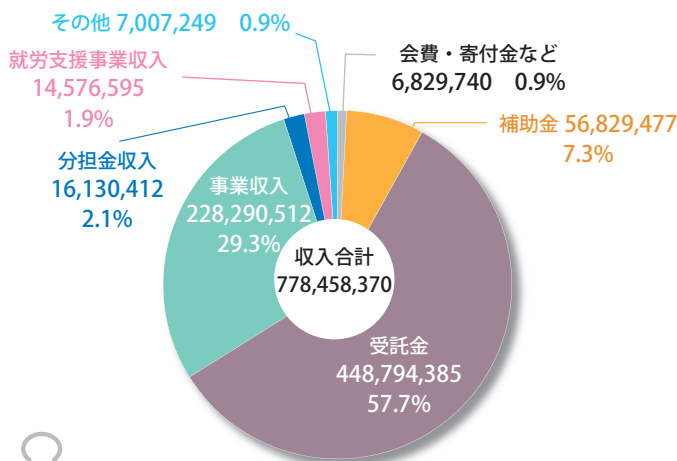
さらに、コロナ禍において希薄になってしまった「つながり」の再構築を目指して、ボランティア活動や地域福祉活動を推進するとともに、各事業所においては、新型コロナウイルス感染症が終息した後の新しい地域社会の構築を見据えながら、福祉サービスの適切な提供に努め「地域共生社会」の実現に向けた様々な取り組みを展開しました。

決算報告及び事業報告の全ページはこちらからご覧いただけます。▶



【令和4年度事業活動収支決算額(法人全体)】

| 区分 | 収入総額 | 支出総額 | 収支差額 |
|----|----------------|----------------|--------------|
| 合計 | 7億7,845万8,370円 | 7億3,947万6,786円 | 3,898万1,584円 |



(単位:円)



長寿えがお課

市内合同認知症SOS声かけ模擬訓練/高齢者あんしん相談センター柏の杜、館・幸町

昨年9月29日に志木市内高齢者あんしん相談センター5か所の合同開催として認知症SOS声かけ模擬訓練を行いました。

当日は市内5か所に設置されたそれぞれの会場において、医師による認知症の方への声かけについての講義や認知症当事者の方から直接お話を聞いたうえで、訓練を行いました。

担当者 長寿えがお課 高齢者あんしん相談センター柏の杜 土屋

3年ぶりに訓練を実施することができました。当日は78人(柏町19人、館・幸町16人)の参加があり、参加者の皆様からは、「当事者の方が自ら話をする事は認知症が特別なものではない事を実感できた」など感想をいただきました。

認知症になっても住み慣れた地域で安心して生活が送れるように今後も事業を行っていきます。



コロナ禍があけての全体研修・全体会議/訪問介護事業所

新型コロナウイルス感染症の影響により、ヘルパーの資質向上を目的とした全体研修や全体会議をオンラインや会場を分散して実施してきましたが、感染予防を徹底し、全ヘルパー34人が1つの会場に集まって実施することができるようになりました。

担当ケースにおけるヘルパー間の引継ぎについても、これまでは電話連絡としてきましたが、お互いの顔を合わせて丁寧な報告が受けられるようになりました。

担当者 長寿えがお課 訪問介護事業所 下津

全体研修や全体会議が顔の見える中で実施できるようになったことにより、電話では伝えづかったご利用者様の状況について適切に伝えることができました。今後の業務についてもヘルパーの資質向上やレベルアップを目指し頑張っていきます。



登録ヘルパーを随時募集しています。まずは、お電話ください。訪問介護事業所 ☎048-486-0610



地域福祉課

ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業

赤い羽根共同募金と地域歳末たすけあい募金の配分金を財源に、新型コロナウイルス感染症の影響や原油価格・物価高騰等により、経済的に困窮しているひとり親世帯に対して、食品提供の支援を行う「ひとり親世帯支援事業」を実施しました。303世帯にチラシを送付し、190世帯から申し込みがあり、米、レトルト食品、菓子などを送付しました。



担当者

地域福祉課 総務・地域福祉グループ 坂本

新型コロナウイルス感染症の影響や原油価格・物価高騰等により家計が切迫する中で、一人で子どもを育てている世帯はより苦しい状況になっているのではないかと感じ、少しでも助けになればと実施しました。今後も志木市や障がい者就労支援施設と連携して支援を続けていきたいと思っております。



ふれあい交流課

総合福祉センターまつり/総合福祉センター

総合福祉センターの利用団体等で組織する総合福祉センターまつり実行委員会を立ち上げ、3月に第10回総合福祉センターまつりを開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、4年ぶりの開催となりましたが、参加団体による作品展示や体験コーナー、ステージ発表等で大いに盛り上がり、2日間で937人にご来場いただきました。



担当者

ふれあい交流課 施設管理グループ 吉田

参加団体の中には、活動が再開できていない、練習が不十分でステージ発表を断念したという団体もありましたが、運営スタッフとしてまつりに関わっていただくなど、67の団体・事業所等に協力いただけたことにとっても感謝しています。まつり当日は、ステージ発表のサポートを担当させていただき、久しぶりの発表ということで出演者から緊張感が伝わってくる場面もありましたが、発表後に達成感を味わっている様子や会場からの盛大な拍手を見て、まつりの素晴らしさ、開催の意義を改めて感じました。

総合福祉センターでは、市内で活動しているサークルの情報提供を行っています。興味・関心のある活動がありましたら気軽にお問い合わせください。
☎048-475-0011



就労継続支援 B 型/障がい者通所施設 (多機能型事業所)

コロナ禍ではありましたが、毎日多くの障がい者の方が生活訓練、就労訓練のため通っていただきました。

外出機会の減った通所者の筋力や体力が落ちないように体を動かす機会を増やしたり、ストレス発散のために余暇活動にも力を入れて取り組みました。就労継続支援B型では、令和4年度の平均工賃月額額は17,813円となり、昨年度から2,755円アップすることができました。



担当者

ふれあい交流課 障がい者通所施設 竹田

コロナ対策が緩和され、商品を販売する機会や注文も増えてきました。製菓部門の陽がし館クッキーは、年間でおよそ19,000袋を販売することができました！また、地元の宗岡産コシヒカリを使った新商品「米パン」を志木に所縁のある料理研究家の指導を受けながら販売し、好評をいただいています。これからも利用者さんに、作る、働くよろこびを感じていただきながら、地域に愛される商品作りを目指していきます。



新商品「米パン」



こども未来課

コロナ禍で中止となっていた念願の事業が実施されました！

しきっこあつまれ！市長といっしょに〇×クイズ大会in総合福祉センターまつり

参加者67人(未就学児:23人、小学生以上:19人、保護者:25人)

香川市長を招き、子どもから大人まで誰でも楽しめるゲームとして、〇×クイズ大会を実施しました。志木市にちなんだクイズ・市長にまつわるクイズを用意し、勝ち残った18人に志木市と市民会館からカパルグッズ、本会から図書カードと陽がし館クッキーを景品としてお渡ししました。



子どもから大人までにぎやかに楽しめました！

担当者

こども未来課 児童センター 樺沢

数年ぶりの総合福祉センターまつりへの参加となり、こども未来課にとっても大きなイベントでした。当日を迎えるまで緊張もありましたが、天気にも恵まれ青空の下で開催することができました。普段からご利用いただいている方、この事業をきっかけに来てくださった方もいて、児童センター・宗岡子育て支援センターを知っていただく機会にもつながりました。

コロナ禍を経て、少しずつ普通の生活に戻りつつありますが、新しい生活様式となる今後も、市民の皆さんにとって居心地のよい居場所として、利用していただけたらうれしいです。

おうちで楽しめる手あそび・工作などのコンテンツをたくさん用意しています！
どうぞご覧ください。



夏休み中の こどものいばしょ

NPO法人志木のまいにち子ども食堂

場所 志木市中宗岡4丁目18-31 ショッピング宗岡103
☎090-3439-7403 ✉shikimai.shokudo99@gmail.com



代表:山下悦子さん

志木のまいにち子ども食堂を知っていますか? 宗岡地区のまん中にあり、だれでも来ることができる食堂です。食堂といっても、いろいろなことをやっているの皆さん一度は訪れたことがあるかもしれません。「学校の給食がない日のおひるごはん」は毎年多くのご利用があります。7年目の今年も、夏休みのおひるごはんを開催します。保護者の皆さまからも「助かる」「安心できる」「子どもだけで行ける」「子どもが楽しいと言っている」「まいにち行かせられる」など嬉しい言葉をいただいています。こどもたちは食堂でみんなとごはんを食べ、おしゃべりしたり絵を描いたり自由に過ごします。食堂はこどもたちの安全を見守り、話に耳を傾けたり、困りごとに寄り添ったりしています。今年の夏休みもみんなの顔が見られるよう、おいしいごはんを作ってお待ちしています。



夏休み中のメニュー

いろは舟運うどん、ぎょうざ弁当、冷やし中華など ※変更の可能性もあります。



通常活動日

月:フードドライブ(寄附受付日)

火:みんなの居場所
(宿題など自由に集う日)

水・金:晩ごはん 300円(要予約)
18時から19時30分

※お持ち帰り弁当(200円)は17時までにご予約ください

木:食品無料配付日

土:手打ち蕎麦
300円 12時から13時

●のついている日は通常の活動に加え、お昼ごはんも提供しています。

100円 12時から14時

お休み 日・祝日・×のついている日

7月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
8月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

NPO法人そらいろ

場所 柏町2丁目27-13
✉sorairoinfo2021@gmail.com

夏休み中のメニュー

餃子弁当、和食弁当、ミートソーススパゲッティ ※変更の可能性もあります。

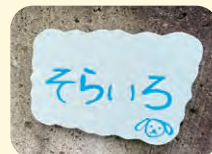


代表:早坂彩さん

22歳の時にそらいろを立ち上げました。立ち上げようと思ったきっかけは、ある日急に「やりたい!」と思ったからです。私自身、不登校の経験があり、小学校から中学校まで学校にあまり行っておらず、人と関わるのも苦手で、大人も苦手でした。

その経験を活かし、子どもを取り巻く環境や、各々が持つ悩みなどに直接にか支援できることはないかと思い立ち上げました。現在は、志木市柏町に「そらいろはうす」を作り、そこを拠点として活動しています。

活動をはじめから1年が経ち、関わってくださったたくさんの方のおかげで、1年目の目標としていたNPO法人化も達成することができました。この活動を通して色々な方とつながれることも活動していく中での楽しみのひとつです。少しでも興味をもってもらえたら遊びにきてください!



この看板が目印!

みんなの居場所

季節ごとのイベントやおやつ提供、おやつ作り、宿題など年齢関係なくみんなで楽しく遊びます。

第1・3日曜日

フードパントリー 13:30から15:00

みんなの食堂

学校の振替休日や長期休みの時に、月に1~2回からお昼ごはんを提供しています。

夏まつり

9月2日(土)宝幢寺にて開催決定!
詳細はSNSやチラシを通してお知らせします。



7月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
8月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

※変更の可能性もあります。

みんなでごはん!

場所 いろは遊学館(3階調理実習室)
☎090-9960-0141 080-1023-6896

7/8、8/12のメニュー
三色丼、塩鶏からあげ
※変更の可能性もあります。



代表:宮崎康樹さん

社会福祉協議会の「子ども食堂ボランティア養成講座」をきっかけに、2018年10月にスタートしました。無理なく続けるために月に一回と決め、必ず第2土曜日に開催しています。

コロナ前は、初めて会った子どもたちが、テーブルを囲んでトランプを始めるなどの光景もありました。

現在は、テイクアウトとなりましたが、できる限り食材からの手作り料理を提供できるよう工夫をしています。また、お菓子作りには、子どもたちに参加してもらっています。

昨春よりフードパントリーを始めました。こちらは記名・申込、不要ですので、是非、気軽に立ち寄ってください。



通常活動日

7月8日・8月12日 17時から17時20分

テイクアウト

(容器はご持参ください)

- ・未就学児 無料
- ・小中学生 200円
- ・高校生以上 500円
- ・65歳以上 400円

3日前までにお申込みください。

フードパントリー

レトルト食品など無料配布
申込みは不要です。

期間限定開催

夏休み宿題お助け教室のランチルーム

7月24日・25日・27日 12時から13時

対 象 小中学生 参加費 1食200円

定 員 各日20人

場 所 宗岡第二公民館(総合福祉センター4階調理室)

申 込 み 7月10日から7月17日までに宗岡第二公民館へ
保護者による電話予約が必要です。☎048-475-0013
メニュー等詳細は、社会福祉協議会のホームページをご確認ください。

「やってみたいが地域の力に!夏休みボランティア体験」

ボランティア体験プログラム「福祉学園」参加者募集

市内の福祉施設・ボランティア活動団体と一緒に、ボランティア体験プログラムを開催します。ボランティア活動をしてみたい人、福祉の仕事に興味がある人、身近な場所で何か活動を始めたい人など、皆さんのご参加をお待ちしています。

- 〈対象〉 小学5年生以上(体験コースによって対象が異なります)
- 〈体験期間〉 8月1日(火)から8月28日(月)
- 〈申込み〉 受付期間6月19日(月)から7月7日(金) 8時30分から17時15分 ※土日は除く
①申込み希望者は、事前に「福祉学園」の説明動画をご覧ください。
②所定の申込書を本会窓口(総合福祉センター1階)に提出してください。
※申込は先着順になります。
※動画、プログラムの詳細は本会ホームページからご覧ください。
※保育園でのボランティア体験を希望する人は事前説明会に参加してください。
- 〈問合せ〉 地域福祉担当 ☎048-474-6508 ✉vc@shiki-syakyō.or.jp



▲ホームページ

昨年の福祉学園参加者の参加のきっかけや感想を一部紹介します

●きっかけ

以前からボランティア活動をしてみたいと思っていました。

そんな時に「福祉学園」のチラシをみて、地域のボランティア活動についても知れる機会なので参加を決めました。

●感想

参加する前までは、ボランティアをする側が大変というイメージでしたが、実際に体験してみて、みんなが協力しあって楽しくやるものだと分かりました。





支え合い・助け合いの取り組み



市内でラジオ体操の輪が広がっています

南の森式番街町内会ラジオ体操

館第2児童公園 月曜日～土曜日(日・祝休日、雨天中止)
6時20分～「みんなの体操」、6時30分～「ラジオ体操」

●関係者の声

小さい子どもから大人までの健康増進につながり、一つの広場に集まって交流ができる場を提供できたらと思い、2018年に町内会の有志で始めたのがきっかけです。今年で5年目を迎え、多い日では35人ほど参加があります。

朝から体を動かすと足が軽くなるため、参加者のなかには、ラジオ体操で体をほぐし、そのまま2kmほど散歩に行っている人もいます。

朝が早い活動ですが、多くの人にご近所付き合いや健康づくりに努めてもらえたらいいなと思い、続けています。

●参加者の声

このラジオ体操では、NPO法人全国ラジオ体操連盟の講習を受けた人がいて、体操におけるポイントを教えてくれるのも他にはない特徴だと思います。



◀「毎日やっているラジオ体操ですが、少しでも刺激になれば」とラジオ体操におけるポイントを丁寧に解説。

いろはのんびりラジオ体操

いろは親水公園 中洲ゾーン
第1・3木曜日(雨天中止) 9時30分～



▲このチラシが目印です!

●SHIKISAIパートナーズ

いろは親水公園パークセンター

所長 山丸さん

親水公園のコミュニティパークでは、6時30分からラジオ体操を自主的に実施している方々がいらっしゃいます。その様子を見ていて、ラジオ体操の良さをもっと色々な人に知ってもらいたいと思うようになりました。

そこで、よりなじみのある場所として志木市役所側の中洲ゾーンにて、開始時間を遅めに設定し、今年4月から開催することになりました。ちょっとした場所や時間の違いでラジオ体操に対するハードルが下がり、少しずつ参加者が増えたらいいなと思います。

今後は、率先して前に立ってくださる市民の方がいらっしゃればうれしいです。たくさん参加をお待ちしております!



▲河田さん(左)と山丸さん(右)

地域福祉事業寄附者

皆さまの真心ありがとうございました
(受付順、敬称略)

| 寄附者(団体) | 金額 |
|---------------------|----------|
| いろは保育園 令和4年度卒園保護者代表 | 220円 |
| 志木市第二福祉センター | 1,573円 |
| 志木市総合福祉センター | 8,899円 |
| 立正佼成会 朝霞教会 | 10,000円 |
| さくらんぼ | 5,000円 |
| 匿名 | 100,000円 |
| 中宗岡四区せせらぎ会 | 30,000円 |
| 白川恵美歌謡学院学院長 白川恵美 | 30,000円 |
| 三区婦人会 | 28,954円 |

【以上の寄附は、3月1日から5月31日までのものです】

生活支援体制整備事業協議体より

エコシティ志木・SDGsまちづくりひろば in Shikiの畠と申します。

志木市主催のアクティブシニア等社会参加支援事業に参加したことがきっかけで、柏町のいきいき応援団が立ち上がる時に声をかけてもらいました。

いきいき応援団の活動に関わる中で、高齢化は避けては通れない課題だと感じています。困っている人と誰かの役に立ちたいと考えている人をどうしたらマッチングできるか、どのようにアプローチしたらいいか…1人では難しいことでも、このいきいき応援団の場で話し合うことで、なにかきっかけにつながればいいなと思っています。

